

**JRTU**  
No.268  
2018  
元日

# あくせす

Access

**JR九州労組大分**  
しんぶん

九州旅客鉄道労働組合  
大分地方本部  
大分市大道町1丁目8番1号  
097-543-2223

発行責任者 佐藤守洋  
編集責任者 難波 悟



撮影箇所:大分県佐伯市上浦豊後二見ヶ浦



佐藤委員長

## 謹賀新年

組合員並びにご家族の皆さま、新年明けましておめでと  
うございます。

本年もJR九州労組大分地方の運動に對しまして、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、皆さまご承知のとおり、8月に開催した定期大会後に、責任ある大分地本が信頼を失う事態を招いたことに、改めてお詫び申し上げます。

二度に亘る、臨時大会を開催し、役員人事について協議を行い、その結果、全員一致での承認をいただく事が出来ました。

JR九州労組も結成して25年を迎える中で、JR採用者の役員も増えつつあり、世交代を課題と捉え、役員一同、組織の信頼回復に向けて、「誠心誠意」取り組んでいきたいと考えております。

はじめに、熊本地震から1年8ヶ月が経過しました。地震による直接死50名、関連死170名を超える甚大な被害をもたらした。未だ47,000名の方たちが現在も避難生活をされています。

さらに、昨年7月5日に発生した、福岡・大分地方を襲った集中豪雨は、死者35名・行方不明6名となっております。

り、その傷跡は大きく、現地の復興は、はじまったばかりと言えます。改めて、亡くなられた方のご冥福と被災された皆さまに對し、心からのお悔やみとお見舞いを申し上げます。

そして、JR九州も株式上場を果たし、会社の経営も順調に推移をしていますが、自然災害が引き起こした被害は主要線区が寸断されており、公共交通機関としての役割が果たせない現状にもあります。復旧・復興にむけては、政府の支援なくしては、JR九州独自の復旧は困難な状況にもあり、JR連

合と連携を図る中で、要請行動等も含め、最善を尽くして行きたいと考えています。

さらに、「安全最優先の風土づくり」にむけて取り組みを強化するなか、残念ながら、重大労災をはじめ、インシデント、部品落下、構造物等の落下など、多くの事故が発生しています。現場で働く者の安全を守る、すなわち「すべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」を目指すには、JR関係労働者の強い決意と行動力が必要であると考えます。

今一度、取り組みを強化するとともに、事故のない職場風土を創り上げて行きましょう。

また国政では第48回衆議院選挙が10月22日に即日

開票され、自民・公明両党で313議席を獲得する結果となり、3分の2の議席を与えることとなりました。民進党が希望の党への合流を決め、期待をされた選挙ではあったものの、小池代表の失言などにより、国民の厳しい判断を受けた結果となり、私たちは、真摯に受け止めると同時に、新たな決意のもとで、政権交代の実現を果たし、国民が安心して暮らせる日本とするためにも、連合が掲げる「STOP THE格差社会!暮らしの底上げ実現」働くことを尊重する社会を取り戻さなければなりません。

日本はこれから、少子高齢化をはじめ、人口減少社会へと突入するなか、それぞれの企業においても、深刻な問題が発生することとなります。

しかし、私たちはどのような環境におかれても、日本社会を、そして地域社会を支え続け、豊かな社会を後世へと引き継ぐ使命があります。そのためには「中期労働政策ビジョン」で示した、すべてのJR関係労働者に相応しい働き方の実現に向けて、現状の課題と将来展望を十分に踏まえ、取り組んで行くこととします。

最後に、本年もJR九州とグループ企業で働く、組合員、ご家族の皆さまにとって、すばらしい年であります事をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶といたします。

### 大分地本役員

- 委員長 佐藤 守洋
- 副委員長 久松 辰也
- 書記長 川崎 淳史
- 執行委員 難波 悟
- 特別執行委員 小野 健介
- 遠藤 晃元
- 為末 恵民
- 芦原 秀巳
- 杉本 涼
- 会計監査 生野 利春
- 中野 啓蔵
- 後藤 優子
- 職員 加来まゆみ

### ★新春旗開きのお知らせ★

日時：2018年1月13日(土) 10時30分～

場所：全労済ソレイユ7階 「カトリア」  
参加をお待ちしております!